



バン型車安全輸送ニュース

寒冷地、沿岸域の使用時の点検編

バン型車が使用される環境について

寒冷地や沿岸地域を走行するバン型車は凍結防止剤や海塩粒子等の影響により錆や腐食が発生し、それが原因となり車両の故障や重大事故も発生しています。安全輸送と長期間使用に備え点検と定期的なメンテナンスを行うことは、貨物自動車運送事業にとって重要な業務です。

バン型車の使用環境



【凍結路の走行】



【沿岸地域の走行、荷役作業】

【ボデー及び架装部品に錆が発生する要因】

1) 金属表面の酸化（腐食）

- ① 凍結路面への凍結防止剤（塩化カルシウム等）
- ② 沿岸地域の海塩粒子（潮風・波しぶき・海水）

《酸化(腐食)が更に促進する環境》

- ③ 多湿（空気中の水分）

2) メッキ・塗装の劣化（その他の要因）

- ① 紫外線によるメッキ・塗装の劣化
- ② 外的要因による損傷（飛び石・すべり防止剤）
- ③ 大気中の化学物質（煤煙・粉塵・石灰粉・薬品等）

錆が進行すると“こんなことに”！

【ボデー部品の錆、腐食】 ドアヒンジ・ドアロック装置



ウイングロック類・煽りヒンジ



【下廻り架装部品の錆】

タイヤキャリア ツールボックス リヤフェンダ



サイドガード リヤステップ 煽り開閉補助装置



【灯火器、電装部品の錆】 マーカランプ・路肩灯



配線コネクタ内部



油圧装置



腐食が進行すると、走行時に路上に落下し重大な事故につながる恐れがあります！

⚠️ 点検の前に(注意事項)

- ・平坦な場所でエンジンを停止しパーキングブレーキは確実に効かせ、輪止めを設置してから行ってください。
- ・ボデーやドアの上部、など高所での点検は落下の危険性がありますので十分注意してください。

お車の長期間の使用に備え、錆や腐食の予防のため点検しましょう

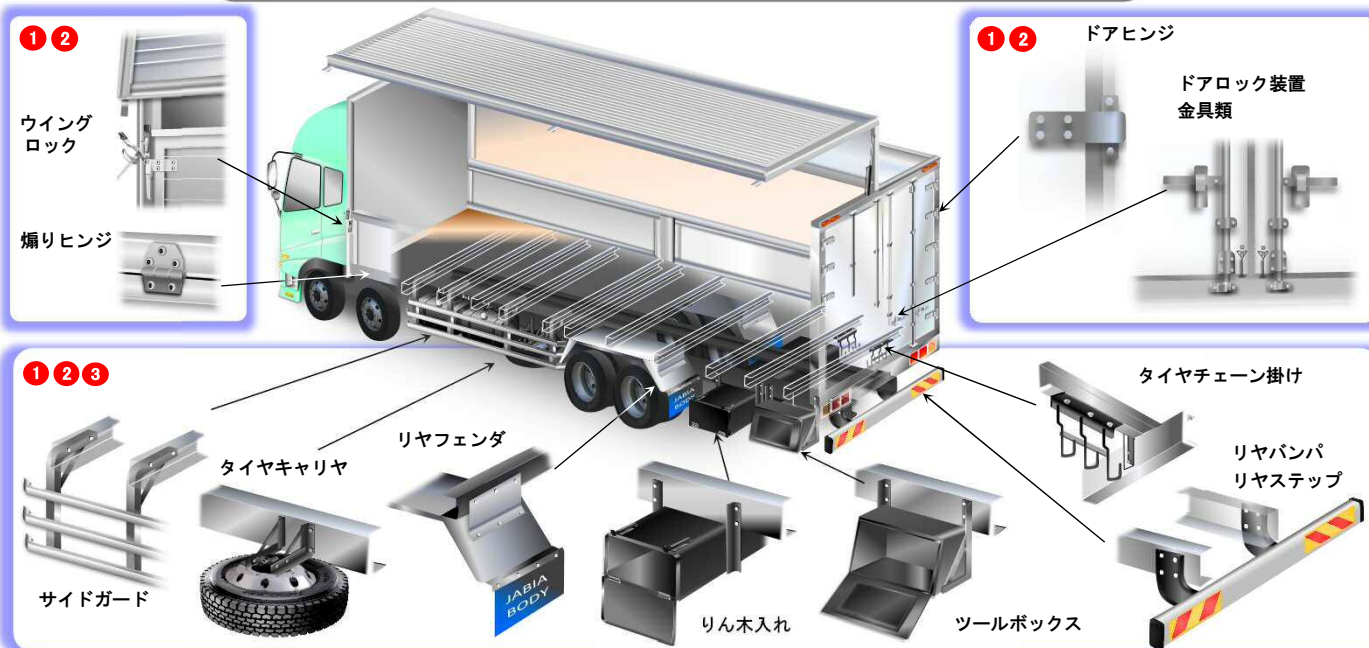
【点検方法と点検のポイント】

No.	期間(推奨)	実施方法	点検のポイント
①	日常点検 (使用後)	・雪道や凍結路の走行後や、沿岸地域の走行後又は、荷役作業後の水洗い	・架装部品の外観のみでなく、見えにくい部分や締結部位まで腐食が進行していないか点検してください。 ・床下廻りの架装部品で袋構造や部品の裏側・板合わせ部は入念に洗浄し腐食が無いかよく点検してください。
②	定期点検 (1ヶ月)	・高圧洗車機を使用した洗浄 ・各部ヒンジ・ロック装置等の回転部又は摺動部への給脂	・高圧洗車機を使用する場合は、配線・コネクタ・電装部品・油圧装置冷凍機内に水が侵入する恐れがあるため直接噴射しないでください。

【防錆加工と施工のポイント】

No.	期間(推奨)	実施方法	施工のポイント
③	防錆加工 (随時)	・塗装面への防錆ワックスの塗布や下廻りへの防錆用アンダーコートの実施	・防錆加工は必ず錆の除去後実施してください。 ・防錆を確実にするため、アンダーコート塗布後十分乾燥させた後上から防錆ワックスを塗布してください。 ・床下の架装品等の袋構造部品は水が抜ける構造になっていますが、追加アンダーコートや防錆ワックス等で水抜き経路を閉鎖すると内部で錆が進行しますので、水抜き経路は必ず確保してください。

点検、メンテナンス部位参考例(架装メーカー発行の取扱い説明書参照)



【錆発生時の補修・交換】

腐食程度	補修内容	点検しないで放置すると
・取付ボルトからの錆 ・表面錆(外観錆程度)又はフクレ錆 ・錆による変形・亀裂・欠損 ・錆による板厚減少、又は穴あき	・ボルト類の交換時は、錆を十分除去し防錆塗装・防錆ワックスの塗布後締付け ・補修板による溶接補修後の防錆塗装補修不可能な場合は部品の交換 ・部品の交換後は防錆塗装・防錆ワックスの塗布	・錆による腐食が進行することで、ボデー外観や部材表面の劣化を引き起こし、更には構造部材の強度低下を招きます。 ・また床下廻りの部品が脱落する事により重大な事故に至る場合があります。

※防錆塗料の選択や防錆の施工方法は、架装メーカー発行の取り扱い説明書又は架装メーカーにお問い合わせください。

※点検の結果腐食が疑われる場合は架装メーカー指定サービス工場に必要な防錆措置又は補修を行ってください。